

臨床放射線

編集委員

今井 裕
後閑 武彦
栗原 泰之
橋本 順
森 壘
中村 和正

編集協力委員

畠中 正光
小川 恭弘
松永 尚文
森 宣
村田 喜代史
淡河 恵津世
西山 佳宏

▶本号の特集は、「小児放射線 診断と治療アップデート」を取り上げました。小児は放射線感受性が高く、成人とは異なり生涯にわたり発がんのリスクも高いことから、宮崎論文の「小児被ばく線量の適正化」については、医療放射線を取り扱う者は、皆、よく理解していなければなりません。また、診断参考レベルの推奨など新たな取組みが行われるようになりました。中枢神経領域では、その後に不可逆的な脳障害をきたす可能性を有する種々の小児急性脳症の診断、小児外傷では、骨や靱帯などの脆弱性により成人よりも臓器損傷が多く、小児に特異的な骨折などが知られています。胸部・消化管領域でも、先天性疾患を含む小児特有の画像所見、また泌尿器領域でも、小児にみられる腫瘍の特徴などが知られています。さらに小児腫瘍に対する放射線治療や全身の臓器を対象とする小児 IVR も近年では重要な治療戦略となっています。最近注目されている分野は、酒井論文の「小児画像診療における AI 研究の動向」であり、AI は骨年齢推定のほか、脳構造の自動解析などが既に実用化されていますが、まだデータの偏りや不足といった多くの課題が残されています。今後の診断精度の向上や効率化、被ばく低減などの成果が期待されています。読者の皆さんも成人とは異なる小児放射線医療について改めて再認識し、将来の小児放射線医療について考えていただければ幸いです。

▶ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手は、今シーズン、投手と打者の真の二刀流で異次元の活躍をしました。彼は、二度の肘の手術により肘の故障をきたす原因などを研究し、肘に負担の少ない投球フォームに変え、さらに変化球の種類を増やし、ストレートの球速もさらに速くなり進化をしています。決して諦めることなく、また決して満足することのない、この飽くなき追求心こそが、彼をさらに成長させているのだと思います。我々も大谷選手のプレーから多くのことを学ぶことができます。来シーズンのさらなる活躍がまた楽しみです。

今井 裕

「臨床放射線」第 70 巻 第 6 号

2025 年 11 月 10 日発行
隔月 (1, 3, 5, 7, 9, 11 月) 10 日発行

定価 3,960 円 (本体 3,600 円 + 税 10%)

年間購読料金
定価 23,760 円 (本体 21,600 円 + 税 10%)
[年間 6 冊の誌代]
年間予約購読者に限り送料無料

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03 (3811) 7165 編集部直通

TEL 03 (3811) 7184 営業部直通

FAX 03 (3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社

広告申込先 文京メディカル TEL 03 (3817) 8036

本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

JCOPY <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつと事前に、出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。